８．研究構想図

学校目標　豊かな知性と心を育み、たくましく生きる東陵っ子を育成する

児童の実態
- やるべきことが分かれば真面目に取り組む児童が多い。
- 自分で考えて主体的に取り組める児童が増えてきた。

めざす児童像
- よく考える子
- 思いやりのある子
- がんばりぬく子

研究主題

課題解決に向けて、自ら考え、共に学び合う子の育成

～　言語活動を通して読む力を高める授業づくり　～

読むこと（指針⑤）
- 目的意識をもって読む力
- 登場人物に着目して読む力
- 誰の何が変容したかを読む力
- 自分の考えや根拠を明確にして読む力

書くこと（指針⑤）
- 目的意識をもって自分の考えを書く力
- 情報を収集・選択・整理して書く力
- 自分の考えを構成して書く力
- 内容や表現を工夫して書く力

活用力を高める授業づくり

（１）単元構成の工夫（学びの指針　②）
- ①身に付けたい力の明確化
- ②単元でねらいとする力が確実に身につく言語活動
- ③アクティブ･ラーニングを具体化する単元を貫く言語活動

（２）授業改善の工夫（学びの指針　③・⑥）
- ①児童の学習意欲を高める課題の工夫
- ②児童の主体的な思いを重視した課題解決の過程
- ③必然性のある交流の時間や場面を適切に位置づける
- ④学んだことを実感できる振り返る活動の充実

学力・学習を支える基盤づくり
- ①チャレンジタイムの取り組み（学びの指針　⑩）
- ②読書活動の充実　（学びの指針　⑧）
- ③表現活動の工夫　（学びの指針　④）

学級づくり